

大柴拓

guitar

会田桃子

violin

2018 09月12日(水)

開場 19:30
開演 20:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3000 円+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

03-3484-0047
info.cafebeulmans@gmail.com
東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



©bozzo



大柴拓

ギタリスト、作曲家、グラフィックデザイナー。神奈川県立弥栄東高校音楽コースを経て、東京音楽大学を卒業。TrioMono、IROSEPTET、大柴拓カルテットの主宰をはじめ、他にも常に数多くの企画を抱え、極めて精力的に活動。2018年3月には大柴拓 Ensemble para furores を立ち上げ、演奏家に役者も加えた全11人の大編成で新作"音楽劇"の製作・初演を超満員にて成功させる。さらに2017年には自身初となるデザイン個展も開催するなど、音楽だけに留まらない現在最も活動的な若手アーティストの1人として注目されている。主宰CDとして、これまでに TrioMono 2枚、IROSEPTET 1枚をリリース。2018年5月に大柴拓カルテットの新作CD『Flowing out (STPT-004)』を発売。公式URL <http://www.taku-oshiba.com>

会田桃子

横浜市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。在学中よりアストル・ピアソラやアルゼンチンタンゴに興味を持ち、バンドネオン奏者小松亮太氏のタンゴバンド「小松亮太&ザ・タンギスツ」でタンゴの演奏を始める。卒業後は小松氏のバンドで数年間ソロバイオリン奏者を務め、国内外のコンサートで活躍。その後度々本場ブエノスアイレスを訪れ、現地のミュージシャンたちとのライブや、ブエノスアイレス市立タンゴオーケストラ学校への短期入学などで研鑽を積んだ。2000年ジャズ的要素を用いた斬新な編成まで幅広いレパートリーを持つ現代タンゴバンド「クアトロシエントスCuatrocientos」を立ち上げる。2009年アストル・ピアソラ作品、オリジナルなどを演奏。Jazzの即興性をより強く含んだ、更に新しい形のタンゴを模索するネオアルゼンチンタンゴバンド「M.Locura」を立ち上げる。2010年ギターのChiei、ケーナ・サンポーニャの山下TOPPO洋平と南米音楽のエキスパート3人で共に立ち上げた「とぼけろっちえ」。同年12月、ファーストアルバム「とぼけろっちえ」をリリース。